

令和3年度 第3回 とみやわくわくミーティング 「とみやわくわく子どもミーティング」 実施報告書



富谷市総務部市民協働課



富谷市公式キャラクター
ブルベリッ娘とブルピヨ

○事業概要

テ ー マ	子どもにやさしいまちづくりについて ～とみやの未来を考える～	
日 時	令和3年11月18日（木）午後3時00分～午後5時00分	
場 所	富谷市役所 市民交流ホール	
座 長	富谷市長 若生 裕俊	
参 加 者	一般参加	15名（市内小学校8校の5・6年生）
	富谷市	11名（市長、副市長、教育長、子育て支援課4名、 市民協働課4名）
	傍聴者等	19名（一般18名、報道機関1名）
内 容	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 市長あいさつ3. ミーティング テーマ1：わたしたちが思う子どもにやさしいまちとは テーマ2：みんなが住み続けたいまちにするためには4. 教育長感想5. 市長感想6. 閉会	



○市長あいさつ

皆さんこんにちは。本日はとみやわくわく子どもミーティングにご参加いただきましてありがとうございます。今日は市内8校の小学校から代表して皆さんに参加いただきました。心から感謝申し上げます。このとみやわくわく子どもミーティングは、直接皆さんから市政に色々な意見を言うていただく場として、それぞれ毎回テーマを設けて開催しているところでございます。今日は11月18日ですが、明後日11月20日は何の日かと言うと、世界子どもの日となっています。1954年に国際連合において世界子どもの日というのが初めて制定されて、そのあと1959年に国際連合において子どもの権利宣言が採択されました。そして、その30年後の1989年11月20日に初めて子どもの権利条約が採択されました。子どもの権利をしっかりと認め、そして子どもの声をしっかりと受け止め、色々な形で反映していこうということで世界中の代表の人たちが集まって決めた本当に大事な会議で決議された内容です。

富谷市においては日本ユニセフ協会という国際組織の日本組織がありまして、そこで子どもにやさしいまちづくり事業検証作業モデル自治体として、全国5自治体の一つに富谷市が選ばれました。その選ばれたことを記念に富谷市でも2018年の11月20日に子どもにやさしいまちづくり宣言をしました。今年は11月20日が土曜日になるので、2日早い18日に皆さんに集まっていただいて、皆さんの日頃思っていることや皆さんが感じていることを直接この場でお話していただいて、皆さんお一人お一人の声をしっかりとまちづくり、市政に反映していきたいと思っております。

皆さん緊張しているかもしれませんが、全然緊張することなく、リラックスしていただきたいと思っております。先ほど自己紹介をうかがった時に、皆さん大変立派にお一人お一人が一生懸命頑張っていることをお話しいただいて、本当にありがとうございました。先ほどのような形でリラックスして日頃思っていることを話していただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますけれども、このわくわく子どもミーティングを開催するにあたりまして、皆さんご臨席いただいておりますけれども、まずは各小学校の校長先生はじめ先生方、そしてまた今日は保護者の皆さん方にもご参加いただいております。改めて心からご理解とご協力をいただいたことに感謝を申し上げまして、開会にあたってのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



〇ミーティング

テーマ1：わたしたちが思う子どもにやさしいまちとは

1. きちんと公園が整備されているまち	P 4
2. 子どもが安全に暮らせるまち	P 4
3. 地域の方々に感謝しながら成長していけるまち	P 5
4. 自由に遊べる公共の場があるまち	P 5
5. 友達と交流ができて楽しく遊べるまち	P 6
6. 小さい子どもでも安心して使える施設があるまち	P 6
7. 事故がなく安心安全でかつ楽しいまち	P 7
8. 富谷の文化や伝統を知り、自慢をすることができるまち	P 8
9. 子どもからお年寄りまで安心して住めるまち	P 8
10. みんなが自由に運動できる施設があるまち	P 9
11. 子どもが安心して遊べるまち	P 9
12. 地域の人に自然に関われるまち	P 10
13. 安心して暮らせて楽しめるまち	P 10
14. 子どもたちが楽しめるイベントや施設があるまち	P 11
15. 子どもが遊べる施設が多くあるまち	P 11



1. きちんと公園が整備されているまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちは、きちんと公園が整備されているまちです。公園は子どもがたくさん使う場所なので、整備されていないと安心して遊べないし危ないので、子どもにやさしいまちにするには遊具や公園内に生えている植物の点検などをしっかり行うのが良いと思います。

座長（市長）

公園がきちんと整備されていないと危険だし、皆さんが公園で遊ぶ機会も多いと思いますので、遊具関係も市で定期的に危険がないか壊れているところがないかしっかりと確認しています。万が一、壊れている、危険だなと思った時は、お父さんお母さんに言って連絡していただいても良いし、直接市役所に言っていただければ整備します。草が伸びている時も連絡いただければすぐ対応したいと思います。私達も公園の整備は気を付けていますけれども、市内にはたくさん公園がありますので、行き届かない時もあるかもしれません。気付いた時には学校の先生に言うても良いので、ご連絡いただければと思います。

2. 子どもが安全に暮らせるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは、子どもが安全に暮らせるまちです。学校に登校する時や遊ぶ時にも使う道路ですが、時々歩道と車道に分かれていないところがあります。歩道と車道が分かれていないと車との距離が近くなり、危ないと思います。なので子どもが安全に暮らせるまちにすることが重要だと思います。

座長（市長）

皆さんは車を運転しないので、歩いて学校に通うと思いますけれども、やっぱり安心安全が一番だと思っています。市でも危険なところにガードパイプを設置したり、歩道の整備をしています。今、全国の色々なところで車が突然通学途中に突っ込んできたりする悲惨な事故が報道されていますけれども、このような事故が起きないように、定期的に学校の先生方と市の職員と地域の人たちと一緒に通学路を安全確認しています。本当であれば全部歩道を整備しなければならないのですがけれども、例えば富谷小学校のところは道が狭くて歩道を作るにも、土地の持ち主の方にご協力いただかないとなかなか歩道の整備ができなかったり、色々課題もあります。ただ今後も、通学路の整備は市としてもしっかりと頑張っていきます。皆さんも、もしかしたら急に歩道に車が入ってくる可能性もあるので、通学する時は周りを見ながら、当然道路には飛び出したりしないように気を付けて歩いてください。私達も安全な環境整備に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

3. 地域の方々に感謝しながら成長していけるまち

参加者

子どもにやさしいまちとは、地域の方々に感謝しながら成長していけるまちだと思います。富谷市は未来を担う子どものために豊かな心と健やかな体を育む教育環境づくりに取り組んでいます。子どもたちを育てるには家庭や学校だけではなく、地域のつながりも必要です。富ヶ丘地区では多くのサポーターさんに見守られているので、富ヶ丘小の児童は安心して学校生活を送ることができています。

座長（市長）

そのように地域の人たちに対する感謝の気持ちを持っていただいていると思うだけで地域の人たちは嬉しいと思います。富ヶ丘地域やほかの地域もそうですけれども、地域の皆さんがいわゆるスクールサポーターという形で、雨が降る日も寒い日も風が強い日も街頭で皆さんが通学する時に何事も無いようにと色々協力して安全を支えてくれています。支えてくれる人たちがいるから、安心して学校に通学できるということです。未来を担う皆さんのためにいくらかでも力になれば、そして皆さんの安全のために役に立てればということで、地域の皆さんは支えていると思いますので、その感謝の心というのをこれからも大事にしていいただければと思いますし、あと今度は皆さんが大きくなったら、地域の子どもたちを支えていく大人になってくれればと思います。

4. 自由に遊べる公共の場があるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは、もう少し自由に遊べる公共の場があるまちだと思います。理由は幅広い世代が楽しめる公共の場が欲しかったことと、限られたボール遊びしかできなかつたり、スケートボードなどができないという点もあるからです。

座長（市長）

富谷は公園はいっぱいあるのだけれども、そういう自由に色々なことができる広い公共の場がもしかしたら不足しているかもしれません。市民の皆さんから私へのお手紙でもそういう言葉をいただくことがあります。なるべくそういう場を提供したいと思っているのですけれども、すぐに用意できない部分もあるので、限られた中でのことにはなりますけれども、市の幹部の人たちも今のお話を聞いていますので、時間はかかるかもしれないですけれども、そういう公共の場を作れるように頑張っていきたいと思います。

5. 友達と交流ができて楽しく遊べるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは、友達と交流ができて楽しく遊べるまちだと思います。国語の授業でも人と人とのつながりが大切だと習い、私も友達と遊べないとつまらないし、やることもないと思ったからです。

座長（市長）

友達と交流するというのはとても大切なことですよね。やはり人は一人では生きていけないし、一人でいても寂しいし、そういう意味ではいつも友達と交流したり、遊んだりすることで色々な学びもあったり、色々なことができるようになったりするので、いつも友達を大事にする心をみんなが持っていることが大事だと思います。そういう交流を積み重ねることで、それが支え合いにもなると思うので、これからも友達を大事にお互いに大事にしていだければと思います。

6. 小さい子どもでも安心して使える施設があるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは、小さい子どもでも安心して使える施設があるまちです。私も国語の授業で人のつながりが大切だと学びましたが、その発表の時に思い切りボールで遊べる施設が欲しいという声やスポーツの練習ができる場所が欲しいという声がたくさんありました。そして、そういう施設は限られているので、道路でボールを使ったりしていて危ないと思いました。なので、小さな子どもでもボールを使えたり、思い切り使える公園や施設があれば良いと思います。

座長（市長）

野球をするには広い面積が必要だし、ボール遊びは確かにボールがどこに飛んでいくかわからないので、広い場所でないと難しいと思います。公園で限られた条件の中でやってもらうか、あとは学校のグラウンドは先生の言うことを聞いてやってもらうかになると思います。地域の公園などが足りないのも、課題として受け止めたいと思います。時間がかかるかもしれないですけども、なるべくボール遊びのできる公共の広場が作れるように頑張っていきたいと思います。ただ、道路では危険が伴うので、絶対にそのようなことはしないようにお友達にお伝えしていただければと思います。

7. 事故がなく安心安全でかつ楽しいまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは、事故がなく安心安全でかつ楽しいまちだと思います。まず、事故がなく安心安全なまちについては、私の通学路に車通りの多い十字路があり、そこで何度か車と自転車などの事故が起きていて、私も見たことがあります。そこだけでなくこのような事故が起きたことがあると思います。このようなことを無くすためには、通る人や車の人、両方に見えるような標識があると今よりも良いと思います。ほかにも私の通学路はとても狭いところがあり、横に三人で歩いてぎりぎりはみ出ないくらいの道です。登下校している人は、歩道からはみ出して歩いている人もいて、とても危ないです。なので歩道と車道の境目をもっとはっきりさせれば危なくなくなると思います。楽しいまちについては、子どもが楽しめるようなイベントが今よりもあれば、たくさんの人が参加してくれると思います。そうすれば人と人との交流も増えていくと思います。富谷には大型の店がありとても便利ですが、最近、中の店も少なくなってきたりちょっと不便なところもあります。このようなところを改善するともっと子どもにやさしいまちになると思います。

座長（市長）

まずは安心安全なまちというのは、一番何よりも大事です。特にあけの平は小学校近くの交差点の道幅が狭くて、その割に車の台数が多くてということで、ずっと前から危険が伴うということで市としても色々な対策はとってきたところです。三年前から国と警察のご協力もいただいて、色々な実証実験を行って、今回、車がスピードを出せないようにあえてポールを立てて、スピードを出しにくいようなハンブを作って、実証実験のデータに基づいて、地域の皆さんの声を聞いて、ハンブを設置させていただきました。このことでかなりスピードを出す車は減少しました。あとは急ブレーキをかける車の数も減ったというデータも、国土交通省から報告いただきました。すぐに道を広げて歩道を設けるのは難しいのですけれども、今できる最大限の対策として取り組んだところです。あけの平大清水地区をモデルに成田でも同じような実証事業を行っていますし、今後明石台地区からもそういう声をいただいているので、順次対策をとっていきたいと思っています。何よりも事故のない安心安全なまちをつくっていくのは、私達の責任ですので、これからも頑張っていきます。また、皆さん一人一人が気を付けていただくことも大切だと思うので、気を付けていただきたいと思います。あとは昨年からコロナの関係で色々なイベントが中止となり、開催できない状況ですけれども、多分もう少ししたらイベントも開催できるようになると思うので、そういったイベントを市で企画していきたいと思っていますし、色々なものにこれから参加していただければと思います。あとはお店の関係は民間のお店でもあるので、限界がありますけれども、これからは誘致などをしていきたいと思っています。

8. 富谷の文化や伝統を知り、自慢をすることができるまち

参加者

富谷で子どもにやさしいまちは、富谷の文化や伝統を知り、自慢することができるまちです。理由は総合や社会の勉強をした時に富谷市のことを調べたのですが、自慢できるような文化財や伝統はあったのですが、調べないとなかなかわかりづらかったのもっとわかりやすいと良いと思いました。

市長（座長）

自分の地域の文化や伝統をまずは知ること、そしてそれを自慢できるまちというのはすごく大事だと思います。ただ調べないとわからないというのは、私達ももっとわかりやすく富谷の文化や伝統をしっかりと伝えてこられなかった部分もあるので、今日市の幹部の人たちがここに来ていますから、富谷の文化や伝統をしっかりとわかりやすく伝えられるように色々すぐに取り組んでいきたいと思っています。ちなみに昨年が奥州街道の宿場町として、富谷が誕生して400年ということで、富谷の歴史と伝統を色々な人たちに知ってもらうために、とみやなどをオープンしたり、色々な取組もしたところですので、これからも富谷の人たちが誇れるような歴史、文化、伝統を伝えられるように頑張っていきたいと思っています。

9. 子どもからお年寄りまで安心して住めるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは緑道など人しか通れない道の防犯と子どもからお年寄りまで安心して住めるまちです。緑道とは車などが通れない、人が通るような道で、私たちの日吉台小学校の通学路などにも使われているのですが、この前その茂みの中に子どもが引きずりこまれるといったことがあり、不審者が出たりしたので、そういったところの整備とか街灯などを設置したりするのが良いと思います。あと、子どもからお年寄りの人たちまで安心して住めるような道路や歩道の整備とか公民館などの公共の施設の管理が必要かと思っています。

座長（市長）

安心して暮らせるようにということで、特に緑道関係、私達も日頃から皆さんが安心して暮らせるようにということで、警察と色々な協力をしながら注意しているのですけれども、そういった環境整備はすごく大事だと思うので、そういうちょっと見えないとか死角になりそうなところは気付いたら教えてください。特に大人の目線と皆さんの目線は違うので、大人の方が気付かないところでもあるので、皆さんから遠慮なく気付いたところを教えていただければ、すぐに私達も対応したいと思います。暗いところとか、ちょっと怖いとか思ったら、すぐ遠慮なく先生を通してでも良いし、直接でも良いので教えていただければ、すぐ安全確保のためにやれることはやりたいと思います。何よりも一番は皆さんが安心して暮らせるまちを

作っていくことが大事なので、市民の皆さんにご協力いただき、防犯パトロールとか色々なこともやっていますので、地域の皆さんとも連携しながら皆さんが安心して暮らせるように頑張っていきますのでよろしくお願いします。

10. みんなが自由に運動できる施設があるまち

参加者

子どもにやさしいまちづくりは、みんなが自由に運動できる施設があったら良いと思います。理由はみんなが運動することで運動神経が良くなったり、夜ちゃんと寝られたりして健康になるからです。

座長（市長）

体を動かして運動することで食欲もわくし、ゆっくり休めるし、あとは大人になってくるとやっぱり体を動かすことが健康につながることにもなってくるので、皆さんも運動は大事にしていきたいと思うし、市としては運動できる場所の確保や運動できる機会を色々広く皆さんに伝えていきたいと思っています。なので、お友達にも運動の大切さを伝えていただけたらと思います。

11. 子どもが安心して遊べるまち

参加者

僕が思う子どもにやさしいまちは、子どもが安心して遊べるまちです。例えばスポーツなどができる広いグラウンドで自由に遊べる所があれば良いと思います。そして子ども全員に防犯ブザーを配って安心して遊べるようにすると良いと思います。

座長（市長）

防犯ブザーは素晴らしいアイデアだと思うので、検討していきたいと思っています。それから安心して遊べるようにということで、広い遊べる場をすぐに用意するのはもしかしたら難しいかもしれませんが、成田は大きく広い公園があるので、活用していただければと思いますし、これからもしっかり草を刈ったり、整備も大事だと思うので市で頑張っていきたいと思っています。

1 2. 地域の人に自然に関われるまち

参加者

子どもにやさしいまちは、地域の人に自然に関われるまちです。僕たちが楽しい学校生活を送れるのは地域の人たちの温かい目、見守りがあるからですが、コロナ禍で少なくなっていると思います。

座長（市長）

先ほども地域の人たちに支えられて感謝しているというお話がありましたけれども、地域の人たちと自然に関わりを持って、地域の人たちに支えてもらっているということはすごく大事なことだと思います。コロナの関係でなかなか外に出る機会も少なくなっていますが、積極的にこれからも地域の人たちと色々な関わりを持てるように、そういったことを大事にしていいただければと思います。

1 3. 安心して暮らせて楽しめるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは、安心して暮らせるまちだと思います。安心という点では防犯をしっかりしていることだと思います。今は街灯が少なかったり、アンダーパスが危ないなど子どもが安心して通れない道があります。なので、子どもが安心して通れるように街灯を設置するなど対策を立ててほしいです。楽しく暮らせるという点では、まずどの年代の子でも楽しめる行事などがあれば良いと思います。今は夏祭りなど楽しめていますが、大人が準備したものに参加するだけでは年齢が上がっていくにつれて楽しめなくなるかもしれません。なので、中高生なども準備する側に回ったり、それぞれの年代の子が自分の役割を担って参加できるものになれば良いと思います。次に、もっと子どもたちが楽しく遊べる場所が増えると良いと思います。今は大きい遊具のある公園が少なく、大亀山森林公園は車でしか行けないので、自転車などで行ける身近なところに大きな遊具がある公園があれば良いと思います。

座長（市長）

安心安全のために防犯というのは一番大事だと思うので、アンダーパスに防犯カメラを設置していますが、そういう暗いところはもう少し何か対策をとってきたいと思います。今コロナの影響で行事が減ってしまっているけれども、もう少しすれば行事もできると思います。行事も世代を超えて参加できる、そして色々な世代がそれぞれ役割を持ち合うことで参加意識が高まる。すごく素晴らしいご意見だと思うので、地域の方だけがお祭りを準備するのではなく、地域の小学生、中学生、高校生が祭りづくりを協力する側に関わってもらうことで多分違うこともできると思うので、そういったところも提案していきたいと思います。それから、最後にあった大きな公園、大きな遊具についてはすぐには難しいかもしれませんが

も、頑張っていきたいと思います。ちなみに今度の市民図書館のいわゆるセンター館を、成田公民館のところに設ける計画を立てて、これから建設の準備に入っていきますけれども、屋内遊戯施設も併設することになりましたので、そういったところも有効に活用していければと思います。

14. 子どもたちが楽しめるイベントや施設があるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちとは、子どもたちが楽しめるイベントや施設があることだと思います。体験活動などの活動や芸術文化などが学べる施設があれば良いと思います。

座長（市長）

イベント、そして芸術文化を楽しめる施設、いわゆる文化会館というようなところは、今までも市民の皆さんから必要だという声はいただいています。とはいいながらも、すぐに文化会館を作るのはすごく大変なので、まずは今、文化会館の前に市民図書館を求める声が強かったので、市民図書館の整備をして、文化施設についてはその次の段階で検討していきたいと思います。長期的な課題として受け止めさせていただきたいと思います。イベント関係は文化会館がなくても、色々な場所で趣向を凝らしてやっていければと思いますので、ぜひこれからもよろしく願います。

15. 子どもが遊べる施設が多くあるまち

参加者

私が思う子どもにやさしいまちは、子どもが遊べる施設が多くあるまちです。私の家の近くには公園が複数箇所ありますが、雨が降った時や一人で静かに勉強したい時などは遊ぶことができません。だから図書館や体育館など一人でゆっくり時間を過ごす時や雨の日でも遊べるような場所を設けるべきだと思います。また私の家の近くには大きな公園があるのですが、公園にはもっと遊具が欲しいと言っていた人がいたので、小学生でも意見が言えるようなアンケートを設けたりするのが良いと思います。

座長（市長）

小学生、中学生のアンケートというのも非常に重要だと思うので、皆さんが色々な意見を出せる機会を作っていくというのも大事だと思います。遊具を設置する時には、地域の皆さんに相談はするのですが、遊ぶ皆さんの声もしっかりと聞きながら、これから遊具の設置を考えていきたいと思います。

テーマ2：みんなが住み続けたいまちにするためには

- | | |
|---|-------|
| 1. 観光業の活性化やイベントの宣伝、交通の便を良くする | P 1 3 |
| 2. 市内の小・中学生が定期的に富谷市のまちづくりについて意見交換できる環境づくり | P 1 3 |
| 3. 交通の便を良くする、公共のスポーツ施設をつくる | P 1 4 |
| 4. 子どもが安全に過ごせるように信号や横断歩道を設置、地域の人たちが関われるイベントを行う | P 1 5 |
| 5. ルールを守り安全に暮らす、あいさつをし合う | P 1 5 |
| 6. 公園をきれいにする | P 1 6 |
| 7. 子どもたちが遊べるような公園の整備や緑道の整備、市のホームページに転入者向けの情報を掲載する | P 1 6 |
| 8. 年齢関係なくお祭りに参加したり、文化や伝統を知ることができるようにする | P 1 7 |
| 9. 交通の便を良くする、お年寄りや障がいのある人も住みやすいまちづくり | P 1 7 |
| 10. 習い事などを発表できる場をつくる | P 1 8 |
| 11. 雨が降った時に遊んだり、自習ができる施設をつくる、ボランティア活動をする | P 1 8 |
| 12. バスの停留所を増やす | P 1 9 |
| 13. 古い町並みを再生して富谷の自然を守るための取組 | P 1 9 |
| 14. 市民同士が交流を深める、市民にアンケートをとり、まちづくりに活用する | P 2 0 |
| 15. 若者に人気のお店をたくさん建てる | P 2 1 |



1. 観光業の活性化やイベントの宣伝、交通の便を良くする

参加者

私が思う住み続けられるまちとは、富谷市にいたいと思えるようなまちだと思います。富谷市にはブルーベリーといった特産物があるのですが、これといった観光業などの特色が少ないと思います。なので、とみやどなどの観光業を活性化したり、イベントの宣伝などをもっとするべきだと思います。また、市外の方にも来てもらえるように電車を通したりするなど交通の便を移動しやすいようにしたほうが良いと思います。

座長（市長）

富谷市は民間の街の住みこちランキングで東北第1位と高い評価をいただいておりますが、その調査は8つの分類があって、行政サービスとか利便性とか色々な項目があるのですが、富谷市はその8つのうち7つが5位以内に入っていて、総合1位になったのですが、実は一つだけ東北で122番というのが、観光だったのです。富谷市は海にも面していないし、大きな山も無いので、観光資源が無いというところもあって、観光が弱点だったので、それをいくらかでも補えないだろうかということで、昨年、開宿400年を記念して、国からお金をもらって元々宿場町の醤油屋さん跡地を活用して、とみやどの整備をしました。国からお金をもらう時に1年間で10万人来場者を迎えますという目標を示したのですが、コロナの影響で、昨年の10月10日オープンだったものを今年の5月にオープンして、なんと5ヶ月で10万人を達成しました。多くの皆さんにご来場いただいているので、とみやどを観光交流の拠点の一つとしてもっと発信していきたいと思います。あとは富谷市に来てもらうには交通アクセスというのはすごく大事なので、何とか地下鉄の延伸、そして、富谷インターチェンジのフルジャンクション化など、交通アクセスの整備もさらに努力していきたいと思います。

2. 市内の小・中学生が定期的に富谷市のまちづくりについて意見交換できる環境づくり

参加者

学校毎ではなく、富谷市内の小中学生や中学生が定期的に富谷市のまちづくりについて意見交換ができる環境があれば面白いと思います。また、同じような活動をしている富谷市以外の皆さんとのつながりができれば活動の輪が広がり、その活動から住民の要望に合ったアイデアが実現すると思います。その結果、富谷市が好きになる市民がもっと増えると思います。

座長（市長）

今日もそういう意味では、市内の8校の小学校の皆さんに集まっていただいて、

この短時間でこれだけ貴重な意見をいっぱいいただいています。これがもっと色々な機会交流をしながら、まちづくりについて意見交換をしていただくと、多分どんな色々な素晴らしいアイデアが出てくると思うので、そういう機会をこれからも色々検討していきたいと思えますし、その時は皆さんぜひご参加いただき、そういう交流を大事にしていいただければと思います。

3. 交通の便を良くする、公共のスポーツ施設をつくる

参加者

私はどんなまちが住みやすいか考えた時に交通の便が良いことが浮かびました。今はあまり不便ではありませんが、高校生になった時を考えると、富谷高校以外の高校に行く場合、遠かったり、バスが通っていないかったりと不便です。自転車で行くとなっても、雨の日など天気の悪い日はバスなどを使わなければなりません。学生が通学しやすいようにバスの本数を増やしたり、スクールバスで泉中央へ行けたりなど、交通手段が増えると良いと思います。次に公共のスポーツ施設が少ないことが浮かびました。公共のスポーツ施設が少なく、運動ができる環境が整っていません。また、富谷市には市民プールが無く、気軽に水泳が楽しめません。大人になれば体を動かす機会が減っていくので、年をとっても健康な体を保てるように体を動かせる公共の施設があると良いと思います。

座長（市長）

小学校、中学校の時は近くにあるので、不便は感じないけれども、高校になると富谷高校以外遠くなってしまいますので、不便があってというお話については、今までも色々なご意見をいただいております。そのために公共交通の交通戦略というものを作って、すぐやれることということで、まずは今年から市民バスの改編を行って、便数を倍に増やしているのですけれども、通学までは対応できていないので、そこは大きな課題でもあります。バスの増便については、宮城交通さんをお願いをしています。ただ宮城交通さんも運転士さんが不足していたり、またコロナの関係で乗客が減って経営的に厳しいなど色々な事情があって、一気にすぐ増やすことが難しいところですが、これからもお願いしていきたいと思えます。あとは公共の運動施設、これまでも富谷市にプールが必要だというお声はいただけてきました。市民プールを作るにも色々段階があるので、まずは図書館を、屋内遊戯施設とスイーツステーションを含めて複合施設ということで、先行してやっています。プールについては、できれば民間の機関を市内に誘致できればと思って誘致活動をしているのですけれども、今のところなかなか来てもらえないので、これからも引き続き頑張っていきたいと思えます。少し時間がかかるかもしれませんが、どうかご理解いただければと思います。

4. 子どもが安全に過ごせるように信号や横断歩道を設置、 地域の人たちが関われるイベントを行う

参加者

信号や横断歩道がどこにでもあり、子どもでも安全に過ごせる交通とコロナ対策をしっかりとした地域の人たちに関われるイベントを行えば、とても過ごしやすいまちになると思います。

座長（市長）

コロナ対策は今徹底しておりますので、皆さんにもご協力いただければと思います。信号とか横断歩道については、実は市で勝手にここに作りますとはできなくて、すべて警察が決めて設置をするものです。でも、市民の方から声をいただいた時には、すぐに大和警察署を通して宮城県警察本部にお伝えはしていますので、気付いた時には遠慮なく言ってください。ただ、横断歩道も警察のルールで、ある一定の間隔で距離が離れていないと設置できない場合などもあります。要望はしていきたいと思います。

5. ルールを守り安全に暮らす、あいさつをし合う

参加者

事故や事件が少ないまちになれば良いと思います。そのために自分自身がルールを守って気を付けて暮らすことで、みんながルールを守って安全に暮らすと思います。それから、みんながあいさつをし合うことで、いじめやけんかが無くなって、楽しく暮らせると思います。

座長（市長）

事故や事件が少ないまちというのは、安心して暮らせるのには一番大事なことになるので、これからも防犯活動や交通安全運動など、皆さんにご協力いただきながら、市としても一生懸命頑張っていきますし、皆さんもこれからそういう呼びかけを学校でもしていただければと思います。また、そういった事故や事件に巻き込まれないようにするというのも大事なので、そういうことも皆さんにお伝えいただければと思います。あとはあいさつをし合うことによってお互いにコミュニケーションがとれることだったり、あいさつから人と人とのつながりが始まるので、知っている人、知らない人関係なく、お互いにあいさつをし合うことは大事だと思うので、みんながどこに行っても富谷市内はお互いに声をかけ合える、あいさつできるまちをみんなで作っていききたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

6. 公園をきれいにする

参加者

最近、公園にお菓子のごみとかペットボトルとかが捨ててあって、公園はみんなが使うところだからもっときれいにしてほしいと思う時があります。自分で出したごみはちゃんと持ち帰って公園をきれいにしたら、みんなが住み続けたいなと思います。

座長（市長）

きれいなまちだったら、みんな気持ち良く暮らせて、住み続けたいなと思うので、すごく大事だと思います。実はこれまで毎年春と秋に市内一斉清掃活動ということでクリーン作戦をやっていたのですが、昨年からコロナの関係で行っていないので、もしかしたらそういう影響があって、公園とかにごみがあるかもしれません。あとは自分で出したごみは自分で責任を持って持ち帰るということがすごく大事です。そういうことを一人一人が気を付けることがきれいなまちをつくることの第一歩だと思うので、私達もそういうことを市民の皆さんに呼び掛けていきますし、清掃活動を市でも努力していきたいと思いますので、自分のごみは自分で持ち帰る、絶対に公園や道路には捨てないよということ、ここにいる皆さんが学校に持ち帰って友達にお伝えいただければと思いますので、よろしくお願いします。

7. 子どもたちが遊べるような公園の整備や緑道の整備、市のホームページに転入者向けの情報を掲載する

参加者

子どもたちが遊べるような公園の整備や緑道の整備が全然されていないので、整備してほしい。また、市外から引っ越してくる人たちに向けて市のホームページに公共施設とかの写真や行事などの情報を掲載すると良いと思います。

座長（市長）

公園の整備または緑道の整備はしっかりやっていますので、草が伸びているなど気付いたら遠慮なく言ってください。昨年、元国連大使である高須幸雄さんと新春対談をした時に、大人と子どもでは、目線の高さが違うので、大人が子どもの目線を意識して下げて見ることが大切だというお話がありました。95cmの目線です。皆さんが感じている危険などを言っていただくことで、私達も気付かされるので、遠慮なくそういうことがあったら言っていただければと思いますので、よろしくお願いします。

8. 年齢関係なくお祭りに参加したり、文化や伝統を知ることができるようにする

参加者

私が思う住み続けたいまちは、年齢に関係なくお祭りに参加したり、文化や伝統を知ることができるまちだと思います。

座長（市長）

富谷の文化や伝統をみんなで知る、そしてそれを伝えていくということはすごく大事ですね。また、コロナの関係で本当に色々な行事ができなくなってしまっているけれども、多分もうすぐできるようになると思うので、そうなった時は、お祭りやイベントに世代関係なく参加して、集ってみんなが交流することによって、みんながここに住み続けたいなと思えると思うので、そういう機会を皆さんと共につけていきたいと思っています。

9. 交通の便を良くする、お年寄りや障がいのある人も住みやすいまちづくり

参加者

私が思うみんなが住み続けたいまちは、交通の便が良いまちだと思います。バスの本数が増えたり、電車が通るようになれば、今よりも色々なところに行きやすくなると思います。私達が、高校に行く時に電車やバスがもっと通るようになれば、この高校に行きたいけどちょっと行きづらいという人も、行きやすくなると思います。それに車が無い人ももっと気軽ににお出かけができるようになると思います。ほかにも、お年寄りや障がいのある人も住みやすいようなまちづくりをしていくことが大切だと思います。

座長（市長）

県内には14市ありますけれども、鉄軌道駅が無いのは実は富谷市だけということで、大きな課題です。なので、今一生懸命地下鉄の延伸を含め、新しい公共交通を作れるように色々調査研究をしています。少し時間はかかるかもしれませんが、頑張っていきたいと思っています。たしかに富谷は高校になった時に交通の便が良くないので、今までもご意見をいただいております。ただ先ほどもお話ししたように、バスの便については、宮城交通さんをお願いはしているのですが、なかなかすぐに実現してもらえないところもあるので、そこはしっかりとこれからも要望はしていきたいと思っています。そして、障がいを持つ人も誰もが安心して移動できるまちをということは、すごく大事だと思うので、バリアフリーのまちづくりをしっかりとこれからも頑張っていきたいと思っています。

10. 習い事などを発表できる場をつくる

参加者

私が思う住み続けたいまちとは、習い事やカルチャークラブで頑張っている人たちが発表できる場があることだと思います。私達も「レッドスターズトミヤ」というダンスチームで活動しているのですが、富谷で活動しているのに、富谷でのイベントが少ないので発表できる場がありません。今はコロナで難しいかもしれませんが、インターネットやSNSなどを使ってダンスなどを発表できる機会があれば良いと思います。

この質問に対する意見ではないのですが、私の家の車に2回も傷がつけられて、そういう被害をホームページなどで掲載していただければ良いなと思いました。

座長（市長）

まずは習い事を発表できる場ということで、たしかに今イベントや行事が減ってしまっているので、発表の場が少なくなっていますけれども、コロナが収まってきているので、早くお祭りとかイベントが開催できるように頑張っていきたいと思います。その時はぜひ皆さんで日頃の練習の成果を発表していただければと思います。

ただ最後にあった車が傷つけられるというのは、本当に絶対にあってはいけないことですよね。色々な事件、事故が発生した時に安全安心メールとかLINEなどで注意を喚起するようにしているのですけれども、市民の皆さんがそういった被害に遭ったこともホームページなどを活用して、こういうことがあったので注意してくださいとか、こういうことは行わないでくださいというようなことを広く伝えられるようにしていきたいと思います。

11. 雨が降った時に遊んだり、自習ができる施設をつくる、ボランティア活動をする

参加者

私はよく公園で友達や下級生と遊ぶのですが、雨が降った時に遊べなくなってしまうので、雨が降った時も室内で遊べたり、自習ができる施設を作ると良いと思います。あと私は友達と何回かごみ拾いをしたことがあるのですが、ごみが多くて大変だったので、地域の人とボランティア活動を年に数回やることで、ごみの無いきれいなまちになるのではないかと思います。

座長（市長）

成田に今度市民図書館を作るところは、屋内遊戯施設も作る予定なので、そういうところをこれから活用していただければと思います。また、ごみの問題はすぐく

大事なことですよね。まずはボランティアで活動していただいて、本当に心から敬意を表するところです。自分ができると、友達とごみ拾いをする事で、そういう一人一人の積み重ねがきれいなまちづくりにつながっていくと思いますので、これからはぜひご協力いただければと思います。市としてもそういったごみがあった時には、清掃するようにしていますけれども、行き届かないところもありますので、これからは町内会の人たち、地域の皆さんと協力し合って、ごみの無いきれいなまちを目指していきたいと思います。

1 2. バスの停留所を増やす

参加者

バスの停留所を増やすと良いと思います。例えば病院に行きたいのに、病院の前に停留所が無いので、近くの停留所で降りて数分歩かなければいけない時があります。また、お年寄りや足の不自由な人だけでなく、子育て中の人にとっては、その数分が大変なので、病院などの前に停留所を増やすことで住みやすいまちになると思います。

座長（市長）

バス停が目的地から離れていると、高齢者や子育て中の方は大変だと思います。ただ、バス停も勝手に作れなくて、例えば富谷の市民バスの停留所を作るのにも、交通会議という会議に諮って了解をもらって、それで運輸局に届出を出してという手続きが必要なので、時間はかかるかもしれませんが、大事なことなので、今いただいたご意見はしっかりお伝えしたいと思いますし、これからは気付いた時には、要望としていただければと思います。

1 3. 古い町並みを再生して富谷の自然を守るための取組

参加者

古い町並みを再生して富谷の自然を守るための取組をすると良いと思います。富谷市は人口が増えるにつれて、造成をして宅地開発をしています。特に明石台や成田地区が多いです。一方で富ヶ丘などの古い地区では空き家が増えてきており、通学路も古いままで危険なところも多いと思います。だから宅地開発にお金をかけるのではなく、古い町並みをきれいに整備したり、空き家を利用したりして、富谷の自然を守ってほしいです。さらに町並みが古いままだと家を買う気持ちにもならないと思うので、大通りや危険な通学路にガードレールを設置して、安全な歩道にしてほしいです。そして、現在の富谷市では空き家を募集したり、物件を紹介する事業をしていますが、空き家を利用してくれる人にも補助金を出すようにするともっと興味を持ってくれるかもしれません。しんまち通りだけでなく、富ヶ丘の古いまちも再生されることを願います。

座長（市長）

古いまちを大事に、そして大切にしていくことはすごく大事だと思います。しんまちは昨年開宿400年記念ということで色々整備しましたけれども、私はみんな同じようにそれぞれ地域のそういうところは大事なので、これからもしっかりと支援していきたいと思います。今、古民家協会と連携して空き家対策、そして空き家の利活用についてということで、この前も富ヶ丘公民館でセミナーを開催させていただきました。空き家は放っておくと環境にも良くなかったり、安全面でも良くないということがあるので、空き家を活用するのに補助金といったところも含めて検討していきたいと思うし、空き家を放置しないで利活用してきれいなまちを維持していけるように頑張っていきたいと思います。あとは歩道へのガードレールも検討していきたいと思いますが、ガードレールを設置できない場所もあるので、そこは色々難しいところもあるのですが、通学路の安全確認ということで、学校と警察と地域の皆さんと市で確認をして、危険なところはすぐに対策をするようにしているので、これからもここが危険だなと感じることがあったら、遠慮なく言っていただければと思います。

14. 市民同士が交流を深める、市民にアンケートをとり、まちづくりに活用する

参加者

安心して住めるまちだとたくさんの世代が住み続けたいと思うと思います。例えば、まちの人々が交流を深めて、災害などがあった時に助け合えるまちにしたり、まちの人にアンケートをとり、まちづくりに活用したりするのも、まちの人々が安心して暮らせるまちにしていくために大切だと思います。

座長（市長）

安心して暮らせるまち、そのためには市民の皆さんにアンケートなどで意見を聞いたりということは、とても良いご提案をいただいてありがとうございます。今、広報とみや11月号と一緒に「ちょっと聞いて 私の声」というお手紙を入れているので、実は毎日たくさん私のところにお手紙をいただいております。多いと20通、30通、お手紙が来ています。でも毎日皆さんからのそういう声は全部読んで、すぐにできることはすぐに対応していますので、そういったお手紙を通してでも良いですし、あとはアンケートもすごく大事なので、これから色々そういう機会をつくっていききたいと思います。

15. 若者に人気のお店をたくさん建てる

参加者

若者に人気のお店をたくさん建てるのが良いと思います。東京などには若者に人気のお店がたくさんあるので、富谷にも今流行っている飲食店や人気の服屋さんなどをたくさん建てれば若者が住み続けたいまちになると思います。

座長（市長）

若者に人気のお洋服屋さんだったり、お店屋さんがあれば若い人たちが住み続けたいと思いますので、これからもそういったお店を誘致します。実は富谷では、空き店舗を活用していただくとそれに補助金を出す制度も設けましたので、そういった制度を活用していただいて、東京で人気のお店だったり、おしゃれな若い人たちに喜んでもらえるようなお店を積極的に開いてもらえるように、呼び掛けていきたいと思います。あとは、旧役場庁舎にまちづくり産業交流プラザ、通称とみぷらを作って、そこで起業家を目指す人たちの富谷塾というものを行っておりまして、その塾生の人たちにも若者に人気のお店や人気のお洋服屋さんだったり、そういう店を作ってもらえるように呼び掛けをしていきたいと思いますので、これから頑張っていきたいと思います。



○教育長感想

皆さんの富谷市を子どもにやさしいまちにしようという熱い思いを感じました。しっかりと自分の意見を伝えられたことにとっても感心しました。そしてその意見の中に人に感謝するか人とのつながりを大切にするという、人として大切な意見がいっぱいあったことをとても嬉しく思います。心が温かくなりました。学校での学びを生かした意見もたくさんありました。本当に素晴らしいと思います。皆さんが富谷市の住人としてこれからやっていかなければならないことは、小学生でもできることからまちづくりに一生懸命参画するということだと思います。

今日は子どもにやさしいまちづくりがテーマでしたが、これからも学校でしっかりと学んで富谷市の未来について様々な視点から考え、住みたくなるまち日本一にいっぱい貢献してほしいと思います。

○市長感想

教育長さんも皆さんの今日の素晴らしい意見に感激しておりました。教育長さんに代表してお話していただきましたけれども、ここにご臨席いただいている校長先生、先生方、そして保護者の方々も皆さんの立派な発表に大変感激したと思います。そして何よりも今日は市役所の職員にとって、こんなに素晴らしい皆さんに富谷の未来を担っていただけるということを本当に誇りに思える機会となりました。皆さんそれぞれ頑張っていること、勉強だったり、ダンスだったり、バレーボールだったり、バスケットだったり、色々あります。これからもその大好きなことと勉強を頑張ってください、皆さんと一緒に富谷が住み続けたいまち日本一になるように頑張っていきたいと思います。

今日のミーティングが第一歩だと思うので、これからも何か気付いたことがあったら遠慮なくご意見としていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いします。本日は誠にありがとうございました。



